

ナガレタゴガエル

Rana sakuraii Matsui et Matsui

岡山県：絶滅危惧Ⅰ類
環境省：該当なし

カエル目
アカガエル科

選定理由

岡山県内では2007年11月に苫田郡鏡野町で生息が初めて確認された。県内における生息地はわずかで、個体数も非常に少なく、林道工事などでまたたく間に消失する危険性が高い。

存続を脅かす要因

森林伐採、林相変化、河川開発、川相変化、ダム建設、道路工事（林道工事）、水質汚濁、産地局限

分布状況

日本固有種で、近畿・中部・関東・北陸の各地方の山間部の森林に分布する。岡山県内における生息地は県北部にわずか数か所と局所的である。

生息情報

体長38～60mm前後。後肢のみずかきは非常に発達している。繁殖期間中は皮膚がたるみ、木の葉状になる。雌雄とも秋に水中に入り、越冬と繁殖は水の中で行われる。雌は溪流中の岩や石の下に100個前後の白い卵を卵塊として産み付ける。非繁殖期は森林の中で過ごす。詳しい生態は不明である。

（伊藤邦夫、江田伸司、山田 勝）



撮影：山田 勝

